



にゆうきよ 5 入居

す 5-2 住まいのルール

だ かた (1) ゴミの出し方

だ かた ちいき し くちようそん こと しゆるい だ ようび じかん き
ゴミの出し方は地域(市区町村)によって異なり、しかも、ゴミは種類ごとに、出す曜日と時間が決まっています。また、粗大ゴミや処理がむずかしい物の中には有料であったり、収集してくれないものもあります。あらかじめ、不動産屋や近所の人、市区町村の役所に次のことを確認しておきましょう。ゴミの減量、リサイクルと再利用に協力することは日本ではとても大切なことです([O その他の日常生活 2-2 生活のルール・マナー: ゴミ 参照](#))。

[ルール・マナー: ゴミ 参照](#)。

かくにん [確認すべきこと]

も も くべつ
燃えるゴミと燃えないゴミの区別

しげん びん かん しんぶん くべつ
資源ゴミ(瓶、缶、ペットボトル、新聞など)の区別

だ ばしょ
ゴミを出す場所

しゆるい だ ようび じかん
ゴミの種類ごとの出す曜日と時間

そだい おお だ かた
粗大ゴミ(大きなゴミ)の出し方

ぶくろ してい
ゴミ袋は指定のものがあるのか など



ぶんべつ れい
[分別の例]



も
燃えるゴミ

だいどころ で なま
台所などから出る生
かみりい き いるい
ミ、紙類、木くず、衣類
ちいき しげん
(地域によっては資源
あつか
ミ 扱 いのところもあり
ます)



も
燃えないゴミ

きんぞくろい るい
金属類、ガラス類、
とうき こがたかでんせいひん
陶器、小型家電製品、
せいはん
プラスチック、ゴム製品
など
※プラスチックは、地域
ちいき
によっては燃えるゴミ
あつか
扱 いのところもありま
す。



しげん
資源ゴミ

かん びん かみ
缶、瓶、ペットボトル、紙
しんぶんし
パック、新聞紙などをリサ
しげん ベット
イクル資源として別途
しゅうしゅう ちいき
収集している地域もあり
ます。



そだい
粗大ゴミ

かてい ふよう
家庭で不用となったゴミ
おお
で、大きさがおおむね
かど こ かぐ
30cm角を超える家具、
しんぐ でんか せいひん
寝具、電化製品(エアコ
れいぞうこ
ン、テレビ、冷蔵庫、
れいとうこ せんたくき のぞ
冷凍庫、洗濯機を除く)、
じてんしゃ
自転車など

ぶんべつ
※ゴミの分別

ちいき かねん ふねん も も
地域によって「可燃ゴミ・不燃ゴミ」、「燃えるゴミ・燃えないゴミ」、「燃やせるゴミ・燃やせないゴミ」と、いろいろな
ひょうげん つか
表現が使われます。

も ゆうどく はっせい しょうきやくろ こわ こうおん もの いっぽんてき ふねん かんが
※燃やすと有毒ガスが発生したり、焼却炉が壊れるくらいの高温になる物が一般的には「不燃ゴミ」と考
れられていました。しかし最近、ゴミの分別について、それぞれの地域で異なってきていますので注意
さいきん ぶんべつ ちいき こと ちゅうい
しましょう。

じっさい も しょうりほうほう ちいき じょう も ぶんべつ
※実際に燃えるゴミでも、ゴミの処理方法や地域のルール上、「燃えないゴミ」に分別しなければならないところ
もあります。

ぶつりてき も も ちいき も
※ゴミについては、物理的に燃えるのか燃えないのかというより、それぞれの地域のルールとして燃やせるのか
も しげん かんてん わ
燃やせないのか、資源ゴミなのかという観点で分けられています。

だいどころ つか かた
(2) 台所の使い方

だいどころ つか なが だい はいすいこう あぶら なが はいすいかん つ
台所はきれいに使いましょう。流し台の排水口に、ゴミや油を流してはいけません。ゴミは排水管が詰



げんいん あぶら かわ うみ よご げんいん あぶら す しんぶんし す こ
まる原因になります。油は川や海が汚れる原因となります。油を捨てる時は新聞紙などに吸い込ませ
も いっしょ す
て、燃えるゴミと一緒に捨てましょう。

せいかつそうおん ちゅうい
(3) 生活騒音の注意

せいかつそうおん きんりんじゅうみん げんいん やかん そうちよう にちじょうてき
生活騒音は近隣住民とのトラブルの原因になります。夜間から早朝にかけてはもちろん、日常的に
おお おと だ ちゅうい おと がつき おと おお はな ごえ そうじき
大きな音を出さないように注意しましょう。テレビやCDラジカセの音、楽器の音、大きな話し声、掃除機や
せんたくき おと はいすい おと あし おと そうおん しゅうい はいりよ
洗濯機の音、シャワーや排水の音、ドアの開け閉めの音などは騒音になることがあります。周囲への配慮
わす せいかつそうおん き
を忘れずに、生活騒音にはくれぐれも気をつけてください

そうおん
騒音になるかもしれません



おと
テレビ、ラジオ、CDプレイヤーからの音



そうじき せんたくき おと
掃除機や洗濯機の音



おおごえ かいわ
大声の会話

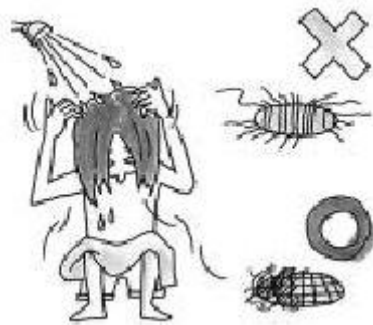


あし おと
ドアの開け閉めの音



よくしつ つか かた
(4) 浴室・トイレの使い方

ふろば はいすいかん つ みず たいへん した かい じゅうたく ひがいで
風呂場やトイレの排水管が詰まると、水があふれて大変なことになります。下の階の住宅に被害が出たときには、弁償（自分でお金を出して元どおりに直す）しなければならないこともあります。排水口に髪の毛などを流さないようにし、トイレではトイレトペーパー以外流してはいけません（ティッシュペーパーや生理用ナプキンも流してはいけません）。



はいすい
トイレの排水が詰まると
みずで
水があふれ出てしまいます。



いがい
トイレトペーパー以外のものは
なが
トイレに流してはいけません。



トイレトペーパー



ティッシュ

つか かた
(5) ベランダの使い方

きんきゅうじ だっしゅつよう つか ばあい だっしゅつこう どうじ ひなん
ベランダが緊急時の脱出用として使われている場合は、脱出口をふさがないようにすると同時に、避難用の隣の部屋との壁などの前には物を置かないようにします。

ふとん ほ はちう しょくぶつ そだ お
また、ベランダで布団などを干すときや、鉢植えなどの植物を育てるときは、それらがベランダから落ちないように気をつけます。



ふとん うえきばち お ちゅうい
布団や植木鉢が落ちないように注意しましょう。



きょうようぶぶん つか かた
(6) 共用部分の使い方

しゅうごうじゅうたく じぶん へ や い が い ろうか かいだん つか きょうゆうぶぶん じしん か じ お
集合住宅では、自分の部屋以外の廊下や階段はみんなで使う共有部分です。地震や火事が起きたとき
きんきゅう ひなんつうろ じぶん にもつ お
など緊急のときには、避難通路にもなるので、自分の荷物を置いてはいけません。

じてんしゃお ば ちゅうしゃじょう つか かた
(7) 自転車置き場・駐車場の使い方

しゅうごうじゅうたく じてんしゃ じてんしゃお ば き ばしょ なら お
集合住宅では、自転車は自転車置き場などの決められた場所に、きちんと並べて置きます。

くるま じどうしゃ かなら ちゅうしゃじょう か ひつよう ろじょうちゅうしゃ ちゅうしゃじょう
また、車(自動車)は必ず駐車を借りる必要があります。路上駐車はしてはいけません。駐車場
ゆうりょう まいつきちゅうしゃじょうだい しはら あ じぶん か
は有料です。毎月駐車場代を支払わなければなりませんから、空いているからといって、自分が借りてい
ちゅうしゃじょうい が い ちゅうしゃ
る駐車場以外へ駐車してはいけません。